

平成 30 年度第 1 回川口市文化芸術審議会 会議録

日時 平成 31 年 3 月 19 日（火）午前 10 時～12 時

場所 議会棟第 1 委員会室

出席者 （委員）原田会長 吉岡副会長 山口委員 稲川委員
松本（進）委員 吉田委員 岡村委員 高田委員 伊藤委員
大西委員 齋藤委員 舘松委員 小林委員 松本（幹）委員
（事務局）古澤生涯学習部長 森岡文化推進室長 青木アートギャラリー館長
立花室長補佐 秋田主任 保坂主事

議事録

1 開会

2 会長挨拶

3 報告

報告（1）「川口市文化芸術振興指針」及び「川口市文化芸術基本計画」の策定について」、事務局より説明、了承を得る。

報告（2）「平成 30 年度川口市立アートギャラリーの事業活動について」、事務局より説明、了承を得る。

【質疑応答】

（委員）資料 3-5 について、事業終了後は成果物の活用方法はあるか。

（事務局）資料 3-8 〈川口の図工美術まなび展〉において展示した。

（委員）他にも、図書館等、人の行き来がある場所で展示できると良いと思われる。

4 議事

議題（1）「平成 31 年度川口市立アートギャラリーの事業予定について」、事務局より説明、了承を得る。

【質疑応答】

（委員）入館者数目標は設定しているか。また、事業内容の評価については、どのように行っているか。

（事務局）昨年度の実績を目安に事業を行っている。事業内容の評価については、市の行政評価を使用し、行っている。

（委員）今後は、入館者数目標を明確に立て行うべきである。

（委員）来館者数について、60 歳以上が少ないように感じる。ターゲット層を若手にしていると思われるが、来場者は美術に対して素人の方も多。わかりやすい企画の展覧会も

必要である。年間で1、2点程度、若年層向けでない企画も実施すべきと考える。

(委員) 事業で地域と連携して行うものはあるか。

(事務局) 平成31年度については、予定していないが、年間に数回、近隣企業等と意見を交換する会議を行っている。また、隣接する商業施設や公園でのイベントに絡めた企画を検討している。

(委員) 川口市立美術館の構想が出ているが、既存の施設であるアートギャラリーを使い切れているのか。まずは、人数把握やアンケートの分析等をしっかり行い、既存の施設を使い切ることが重要ではないか。

(事務局) 資料3-1 事業実施状況の人数や内容等、分析していく。また、資料2の文化芸術関連施設と相互に連携していく。川口市立美術館については、川口市美術館建設基本構想・基本計画審議会において、審議しており、コンセプト等についてはこちらで検討していく。

(委員) 「アートな年賀状展」などがあるがこれで老若男女がひきつけられるのか疑問である。各企画展のネーミング等も含め、シンプルかつ有効的なタイトルなど検討してほしい。

(委員) 来館者が年度によって増減していると思うが、そこを分析し、事業名や対象者を検討していくと良いと考えられる。

(委員) アートギャラリーの近隣に大きな商業施設があることは強みである。今まで以上に連携し、来館者を増やす試みをするべきではないか。

(事務局) 現在、検討しており今後、実施予定である。

(委員) アートギャラリーの事業は学芸員がすべて決めているのか。

(事務局) 基本的には学芸員が決めているが、外部からアートアドバイザーを招き、意見をいただいている。

(委員) 来場者を増やすために、外観の装飾を検討してはどうか。企画内容を見直し、来館しやすい雰囲気作りをしてはどうか。

(事務局) 検討していく。

(委員) 貸館の空き状況はどうか。また、年度ごとの利用率はどのような状況か。

(事務局) 1年前から予約ができ、来年度については、3月以外は埋まっている状況である。利用率については、抽選になる場合もあるが、ならない場合もある。年度によって違う。

(委員) 落選し貸館を使用できない方が多いのであれば、主催事業を減らして貸館を増やすのも良いと思われる。公的資金を使っているので検討して欲しい。

(委員) 川口総合文化センター及びアートギャラリーの貸館について、違いはあるのか。

(事務局) 川口総合文化センターは貸館事業が中心であり、アートギャラリーは企画が中心である。機能としてのすみわけはあると考えられる。

(委員) 美術などの文化芸術関連施設は中央地区に多い。川口駅を使用しない市民はあまり美術に触れあえない。美術と関係ない施設でも活用できる場所が多くある。そういう場所と連携していくと市民の文化芸術レベルが向上するのではないか。

議題(2)「川口市文化芸術基本計画」における事業評価の概要について、事務局より説明、了承を得る。

【質疑応答】

(委員) アートギャラリーの各事業ではアンケートを実施しているのか。

(事務局) 各事業アンケートを実施し、意見をいただいている。アンケートを参考に近隣商業施設との連携、活用により来館者が増えるよう検討している。

(委員) 文化芸術の範囲は広く、分野也多岐にわたる。現在は「室」だが、今後、「課」にするなど組織整備も検討するべきではないか。

(事務局) 文化芸術においては、横断的な組織体制が必要である。文化芸術基本計画の評価等において連絡会議を設置する予定である。そちらを活用するなど、組織整備について研究していく。

議題(3) その他

事務局より次年度以降の審議会の計画について説明。

4 閉会